

お客様各位

Flash ROM 書き換え中止操作の TD 誤記について

貴社益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。平素は弊社半導体製品に対しまして格別のご高配を賜わり誠に有り難うございます。

下記の通り、データシートに書かれている Flash ROM 書き換え中止手順に誤りがありました。

ご迷惑をおかけしますが、内容につきご査収くださいますようお願い申し上げます。

なお、本件につきましてご不明な点がございましたら、当社営業担当までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

— 記 —

1. 対象となるデータシート

TMPM461F10FG_datasheet_ja_20141105.pdf、TMPM461F15FG_datasheet_ja_20141105.pdf
TMPM462F10FG_datasheet_ja_20141105.pdf、TMPM462F15FG_datasheet_ja_20141105.pdf

2. Flash ROM の書き換え中止操作

下表は修正対象部分を含む全体フローとなります。具体的な修正対象部分は赤枠で囲まれた部分です。

(誤)	⇒	(正)
1. FCCR<WEABORT>に"0x7"をライトします。		1. FCPSR0<RDY_BSY>をリードします。
2. FCCR<WEABORT>に"0x0"をライトします。		2. 手順1のリード結果が"1"(Ready)の場合は、9で終了してください。"0"(Busy)の場合は3へ進みます。
3. FCPSR0<RDY_BSY>="1"(Ready)となるまでポーリングします。		3. FCCR<WEABORT>に"0x7"をライトします。
4. FCSR<WEABORT>="1"となるまでポーリングします。	⇒	4. FCCR<WEABORT>に"0x0"をライトします。
5. Read/リセットコマンドを発行します。	⇒	5. FCPSR0<RDY_BSY>="1"(Ready)となるまでポーリングします。
6. FCSTSCLR<WEABORT>に"0x7"をライトします。		6. FCSR<WEABORT>をリードします。
7. FCSTSCLR<WEABORT>に"0x0"をライトします。		7. Read/リセットコマンドを発行します。
8. FCSR<WEABORT>="0"となるまでポーリングします。	⇒	8. 手順6のリード結果が"0"の場合は、9で終了してください。"1"の場合は以下の操作を行い、このフラグをクリアします。
9. 必要に応じて再度自動動作コマンドを実行します。	⇒	(1) FCSTSCLR<WEABORT>に"0x7"をライトします。
		(2) FCSTSCLR<WEABORT>に"0x0"をライトします。
		(3) FCSR<WEABORT>="0"となるまでポーリングします。
		9. 終了

- 以上 -